

2013年6月4日

## 第6回いのちと健康を守る中四国ブロックセミナー現地実行委員会

### 結成総会のよびかけ

各位

岡山県過労死センター

岡山県労働組合会議

#### **深刻化する働くもののいのちと健康を守るために、学び交流するセミナーの成功を**

昨年のJX日鉱水島の海中トンネル事故では、国交省の有識者協議会がコスト低減や会社側の工期短縮の優先が原因の可能性があると中間報告し、中日本笹子トンネルでは、ボルト欠落や脱落、定期点検の手抜きなどのコスト削減が指摘されています。

また、2012年労災死亡者数、死傷病者数は全国でも減少傾向から増加へ転じ、県の死亡者数は、前年17人から33人とほぼ倍、死傷病者はリーマンショック後の2010年から3年連続増加となりました。今年も死亡災害は増加を続け岡山労働局は、再度「死亡災害増加警報」を発しています。

これらは、極限までの人減らしによる現場の多忙化、コスト削減を優先した安全無視の経営体質など、利潤第一主義による規制緩和があり、これを規制する運動が大切です。

精神障害の労災請求件数、支給決定件数は、3年連続で過去最高を更新し、自殺者数も3万人の高水準を続け、厚労省は精神疾患を、「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病」に加えて5大疾患としました。

大企業奉仕の規制緩和がさらに強行されようとしています。これを跳ね返す運動を職場、地域、社会から強化し、働くもののいのちと健康の改善めざすことが大切になっています。

こうしたいのちと健康を守る活動の学習と活動の交流や活動家の養成などをめざして、中四国ブロックセミナーが開催されてきました。2014年は、岡山県で開催することになり、いのちと健康を守る活動をすすめる幅広い皆さんが第6回中四国ブロックセミナーに参加して、さらに活動を前進させていただくことを願い、その成功をめざす実行委員会を結成することを下記の通り呼び掛けます。

記

一、日時 7月3日（水）18時～

二、場所 県労会議事務所

三、実行委員会申し合わせ事項（案）、役員体制（案）、開催概要案等

1. 実行委員会申し合わせ事項（案）

（1）目的 この会は、第6回いのちと健康を守る中四国ブロックセミナーの岡山県開催の成功をめざす現地での活動をすすめます。

(2) 構成 この会は、目的に賛同する団体・個人で構成します。

(3) 運営と機構

1) 総会は会の総意をまとめ、実行委員長、副実行委員長、事務局長、事務局次長、運営委員、事務局員を選びます。

2) 実行委員長はこの会を代表し、副実行委員長は会長を補佐します。

3) 運営委員会は、総会方針を具体化します。

4) 事務局は、事務局長、事務局次長で構成し、運営委員会のもとに日常活動をすすめます。事務局は、岡山県労会議に置きます。

5) 会の運営は、全会一致制を原則とします。

(4) 財政 この会の財政は、各団体・個人の分担金・賛同金などで賄います。

## 2. 役員体制 (案)

実行委員長、副実行委員長 次の県過労死センター代表委員の方をお願いする。

清水善朗 (弁護士)、山本勝敏 (弁護士)、藤田文博 (ひだまりの里病院院長、民医連)、花田雅行 (県労議長)、中上裕彰 (家族の会)

事務局長 藤田弘起 (県過労死センター事務局長)

事務局次長 谷本守 (県過労死センター事務局次長)、米田信敏 (県民医連事務局次長)  
伊原潔 (県労会議事務局長)

運営委員 自治労連、医労連、高教組、生協労組、国労、県国公、JMIU、県労おかやま、県労倉敷、県民医連、県商連

## 3. 開催の概要案

(1) 日時 2014年6月22日(土)ー6月23日(日)

(2) 場所 倉敷健康福祉プラザ、または倉敷市民会館(駐車場が無料)

(3) 内容 昨年までのもの等を参考に実行委員会で検討し決定する。12年度は別紙素案① 1日目講演、シンポ

講演 交替・長時間労働と健康

シンポ 報告 職場の実態とたたかい 医療・福祉、運送、郵政、教員など  
分科会(6つ程度、昨年参考)60分、2日目 分科会 続行

素案② 1日目講演、シンポなど

パワハラ・いじめ 講演 シンポ、医師、弁護士、労働組合などの報告

分科会(6つ程度、昨年参考)60分、2日目 分科会 続行

◎分科会の素案、①基礎講座、②メンタルヘルス、③夜勤・交替制労働、④過労死

⑤(教職員の安全衛生)、⑥じん肺・アスベストなど

◎規模 180人 県内120人、県外60人程度

◎財政:参加費2000円、交流懇親会5000円程度

講師謝礼、会場費、資料作成費、他 約35万円

以上